

# 夏号みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所  
 連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17  
 TEL 924-2194 FAX 924-2195

## 【みどりの教室】

日時：令和4年8月28日(日)10:00～12:00

場所：とんがりふれあい館ホール

定員：11名(抽選)

内容：季節の寄せ植え

参加費：500円※当日お支払いください。

**\* 諸般の事情により定員変更の場合があります。**

申込期間：令和4年8月11日(木) 9:00～

令和4年8月18日(木) 17:00まで

申込方法：21世紀記念公園へお電話で申し込み  
 ください。

## 【記念樹交付日】

場所：とんがりふれあい館ホール

対象：記念樹交付者

日時：令和4年9月25日(日) 10:00～15:00

日時：令和4年10月23日(日) 10:00～15:00

日時：令和4年11月27日(日) 10:00～15:00

日時：令和5年3月19日(日) 10:00～15:00

**\* 市内に住宅を新築または購入された方へ苗木を1本  
 プレゼントしています。**

**申請期間は新築または購入日から1年以内です。**

梅雨に入ってから雨が少なく猛暑が続いていますが、今年の夏は平年よりも暑くなるとの予報が出ています。平年値が上がってきているのに、それにもまして暑いのは私たちの生活も大変ですが移動することができない植物にとってはなおさらです。東北に住んでいますと植物の冬越しも大変ですが夏越しも大事な作業になります。それでもサルスベリに代表される夏咲きの花木は暑さを待っていたかのように新梢を伸ばして赤や紫などの花を咲かせます。そして初秋からは冬を越すためのエネルギーを蓄えていきます。熱中症対策をしながら朝夕の涼しい時間帯にみどりの世話をしてみませんか。



## My ガーデニング

### ・・・季節のワンポイントアドバイス

#### 【水やり】

この時季の水やりはとても大事になります。雨の予報が出てこなくなると、灌水が必要になり天を恨めしく思えてきます。たまには夜に雨が降るのを望みたい気持ちになります。ホースの先から出る水は空から落ちてくる雨とは違います。あげたつもりでも土を掘り返してみるとそれほど浸透してはいません。水分は地中深く根のあるところまでいかなければ効果は少ないです。普段から定期的に灌水をおこなっていれば良いのですが、灰のように土壌から水分が失われてからではなおさら浸透しにくくなります。そうすると植物は葉が萎れ

ついには枯れてしまいます。その後に水をあげて枯れずに済んだとしても葉や根は傷み成長は相当に阻害されます。猛暑の時期は日中の暑い時間帯を避けて朝夕に樹冠全体に水やりをします。鉢植えや植え替えて間もないものは一日に二回あげることもあります。そしてあげる量はどつぷりと根まで届くように十分な水量が必要です。熱中症対策と同じように乾ききってからあげるのではないということです。水鉢といって土で樹木の周りに堤防を作るように盛っておくとあげた水が流れでてしまわないので有効に根まで届きやすくなります。また腐葉土などでマルチングをして覆

うようにすると乾燥が防げます。夏の直射日光を嫌うものは遮光をしたり日陰に移動させ葉や根を守ります。また水はけが悪いから水やりが少なくて済むというのは問題が別です。水はけのよい土壌に植えてなるべく深く深く根が伸びていくようにすると乾燥に対して抵抗力が増します。植え方も水やりには大きくかかわってきます。

### 【植替え】

この暑い時期は植え替えには適しません。常緑樹は秋の彼岸まで待つようにします。落葉樹は 11 月の落葉後が適期になります。

### 【肥料】

暑い時期にあげると根が傷んでしまいます。涼しくなる秋の彼岸まで待ちます。ただし量的には少しです。

### 【病害虫】

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。病気はうどん粉病が発生しやすくなります。特にハナミズキ、カエデ類、サルスベリなどが目立ちます。罹病してしまうと薬剤散布をしても白くなった葉は元には戻りません。ベニカナメにつくゴマ色斑点病も多くの生垣で発生しています。樹種転換をはかったほうが良いかもしれません。バラにつく厄介な黒星病も発生します。発生してからでは遅いので予防薬として殺菌剤を定期的に散布するようにします。殺菌剤の多くは予防薬もしくは初期治療薬です。害虫はアブラムシ、カイガラムシ、イモムシ、カミキリムシなどとおおくの種類が発生しています。サザンカなどにはミノガ（ミノムシ）が発生しています。葉や新芽を食い荒らしています。幼齡には薬剤散布が有効ですが大きくなってからは捕殺するしかありません。



### 【剪定】

月遅れのお盆には綺麗な庭にして迎えたいと思っいる方は多いと思いますが、このような猛暑が続く昨今では剪定されることによって樹木が弱ってしまう場合があります。植物は葉を茂らせて直射日光から幹や根を守ります。くれぐれも切りすぎには注意してください。サツキツツジは早めの刈り込み剪定が必要です。アジサイも花が終わったら花柄を切り取っておきます。



樹木の剪定で綺麗に見えるポイントは幹から伸びる枝が見えるような姿に仕上げていくことです。伸びている先端だけを切るのではなく幹に近い懐のところをすかしてあげると弱らせることなくすっきりした樹形になります。

### 【この時期のハナカツミ】



春にもハナカツミ（ヒメシャガ）の講習会を開きましたが、皆さんの所にあるハナカツミはどんな状態ですか？葉が青々と茂っていますか。この時期は直射日光を避けるために風通しの良い半日陰に移動するか、遮光幕を張って光を抑えます。高温乾燥にも弱いので水やりを忘れずに。特に薄い液肥を月一であげてください。